

1 「循環型のまち・生ごみリサイクル」について

【これまでに確認された事項】

- 1 循環型のまちを目指し、各家庭から出るごみの減量化やリサイクル活動の取り組みの促進に向けた啓発を進めていく。
- 2 まだ取り組みがあまり進んでいない「生ごみ」については、各家庭でできる水切りなどの減量化やリサイクル(堆肥化)への取り組みを普及・啓発することで、ごみ処理量の削減や処理に伴う環境への負荷の低減や区民の環境意識の醸成につなげていく。
- 3 家庭で余剰となった堆肥を集め、活用したい人へ橋渡しするシステムを検討し、より多くの人が取り組み易い環境整備を進めていく。

ごみの減量とリサイクルの推進

生ごみ排出量が減る

「紙類」「ガラス類」「金属類」「プラスチック類」などは資源ごみとしてリサイクルされている。残る大きな課題は「生ごみ」!

ごみ置き場の美観維持

花などの植栽活動との連携

処理量削減による環境負荷の低減

処理費用の削減

など

①「生ごみ」の減量化・リサイクル化が進まない理由などを調査

②区民の方への普及・啓発など

(1)「麻生区生ごみアンケート」の実施について

【目的】

- 1 区内各家庭における生ごみの減量化やリサイクル化への取組状況をアンケート調査し、現状把握を行う。
- 2 減量化やリサイクル化する上で課題となることを整理し、課題解決に必要な方策を検討する参考資料とする。
- 3 検討中のモデル事業(「生ごみ堆肥のもらいます、あげます」)の必要性を判断するための資料とする。

【調査対象】

区内在住者を対象とする。

【調査方法】

- 1 区町会連合会理事の町内会・自治会(各50世帯)
* 5月25日依頼配布済み。
- 2 市民活動団体へ依頼
- 3 区民会議委員から依頼
- 4 市政だより区版、ホームページへの募集掲載
- 5 区役所ロビーでの直接調査
- 6 区役所ロビーへのアンケート箱の設置
(アンケート用紙は 区役所、市民館、図書館、などに置く)

【今後の予定】

1 調査時期

平成23年5月～7月末

2 集計・分析

平成23年8月

3 調査結果の公表

区民会議フォーラムにて実施し、併せて区民会議ニュース、ホームページなどへの掲載

4 その他

現在検討している、生ごみから作った堆肥の回収を実施する上で、その取り組みへのニーズがどの程度あるのかなど参考にしていく。

(2)区民会議フォーラム(案)

1 目的

第3期区民会議の取組課題の一つである「循環型のまち・生ごみリサイクル」を中心に、課題解決に向けた調査審議経過などを区民に対して報告を行い広く周知すると共に、意見交換を行う機会とする。

2. 内容

「循環型のまち・生ごみリサイクル」を中心に、環境・緑化部会で取り組んでいる内容で実施する。

3. 構成

(1)区民会議からの取組報告

- ・「麻生区生ごみアンケート」調査結果
- ・モデル事業の案内 など

(2)基調講演 吉田俊道氏(候補)

(長崎のNPO大地といのちの会理事長)

(3)事例紹介、パネルディスカッションの実施を検討

4. その他

「生ごみ堆肥や肥料で作った花や野菜の写真展」や「堆肥づくり講座」、「野菜直売会」などの開催も検討

(3)「エコのまち麻生」啓発用パンフレットの作成

「エコのまち麻生推進事業」の取組みの一つとして、啓発用パンフレットを作成。
区役所、図書館、市民館、区内小学校などに配布中。